

マダイの資源管理に関する研究

(我が国周辺漁業資源調査)

(予算区分 交付金 研究期間 平成12～18年度)

水産試験場伊豆分場

【研究の背景とねらい】

重要な栽培漁業対象種であるマダイについて、適切な管理方を提言するため、資源状態や放流効果に関する調査を行います。

【研究成果】

- ・平成17年の本県のマダイ漁獲量は65トンであり前年より減少しました。
- ・平成17年に本県で採捕されたマダイに占める鼻腔隔皮欠損魚の割合は13.9%でした。



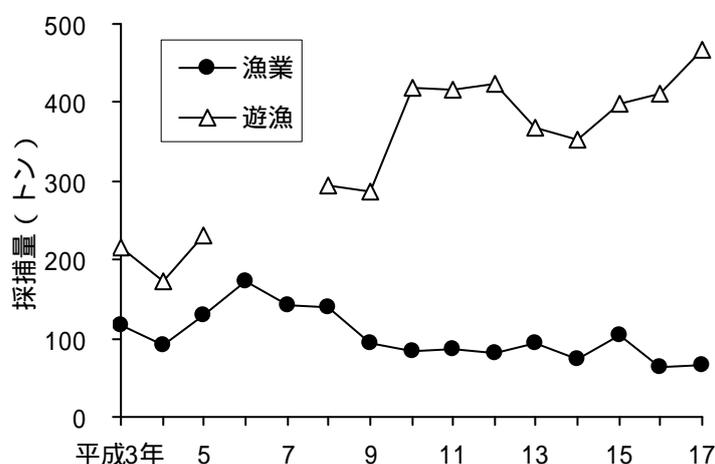
放流マダイの鼻腔隔皮欠損(矢印)

マダイの鼻の穴は、通常、左右に2つずつありますが、放流魚の4割程度は鼻の穴が一つにつながってしまっています。

これを目印にして採捕されたマダイの中に放流魚がどれくらい混ざっているか推定することができます。

本県のマダイ採捕量の推移

遊漁船案内業による採捕量が、漁業による採捕量を上回っていると推定されています。



【研究成果の普及方法】

- ・放流事業を進めるための基礎的な知見として、栽培漁業関係会議等を通じて関係者に広く普及します。

(作成 平成19年3月)